

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SA4	コミュニティデザイン Community Design	田中 人	専門	2	選択	2年秋

科目の概要

コミュニティデザインとは住民の参加とコミュニケーションによる合意形成を通して浮かび上がった「望ましさ」を基に地域コミュニティを再構築していく協働作業である。本科目では、様々なコミュニティデザインの事例や手法を取り上げて、それらがどのように地域の課題を克服し、コミュニティ再生や地域活性化につながったのかを理論的かつ実践的な見地から検討し、そこに共通して見出せる新時代のコミュニティデザインの条件を明らかにする。

学修内容	到達目標
コミュニティデザインの事例を探り上げ、関連する映像や資料を参照しながら当該地域の課題やデザインの基盤となる理念や思想について学ぶ。具体的な事例の検討を通じて課題発見力と計画力を鍛えと共に、新しいコミュニティづくりのための創造力を発揮する。 受け身の授業ではなく、対話や討論を通して主体的に課題解決の手法を学ぶ。	各地のコミュニティデザインの理念や哲学を学び、その理論的背景と実践的手法について理解できる。 日本の地域社会におけるコミュニティデザインの有効性や課題について理解できる。 住民参加の手法としてのワークショップの技法や市民討議会の開催プロセスなどについて理解できる。

学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す 力	主体性	自発的に問いを立てて考え抜く姿勢を身に付けることができる。
	働きかけ力	地域社会の中で共生関係にある他者に連携・協働を働きかける手法を理解する。
	実行力	国内外のコミュニティデザインの事例について調査分析することができる。
考え抜く 力	課題発見力	コミュニティデザインの課題や問題点を見出して、自分の言葉で基礎的な説明ができる。
	計画力	コミュニティデザインのプロセスを理解して、初歩的な企画立案をすることができる。
	創造力	コミュニティデザインの実践に求められる知識と教養、技術や手法を理解してコミュニティ・プロデュース能力を身に付ける。
チームで働く 力	発信力	住民参加と協働のマネジメントのあり方を自分の意見として提言することができる。
	傾聴力	コミュニティデザインの専門用語の意味や理論の概念をノートにまとめることができる。
	柔軟性	コミュニティが多様な背景とニーズを有する無数の主体から成ることを理解する。
	状況把握力	当該地域の現状を把握する能力を身に付けることができる。
	規律性	成熟社会の担い手としての自覚を持って予習復習を怠らず毎回の授業に出席する。
ストレスコントロール力		

テキスト及び参考文献

テキスト：毎回の授業でプリントを配布する。

参考文献：田中ほか共著『甦るコミュニティ 哲学と社会科学の対話』（文真堂）『ボランティア論 共生の理念と実践』（ミネルヴァ書房）他、図書館所蔵の図書資料を中心に適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

【他科目との関連】現代コミュニティ論、まちづくり論、現代家族論などの社会学領域の科目で扱われる現代社会の理論的フレームワークや現代マネジメント実習で取り組む公的課題の克服に向けた実践の方法論と関連する。

学修上の助言	受講生とのルール
身近な地域コミュニティの現状と課題を調べるなどして、どのようなコミュニティが望ましいのかを自分なりに考えておくこと。またコミュニティやまちづくり、都市再生に関連する新聞記事やインターネット資料を普段からスクラップするなどしてまとめておくレポート課題の作成や討論などに有用となる。	授業は「問い」の場である。本科目を通じて学んだことを基礎とし、自分自身の言葉で「問い」、積極的に「表現」する姿勢を身に付けてほしい。また学修効果を高めるためにコミュニケーションを重視し、質問や討論などは大いに歓迎する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	60	①	✓	<p>論述式の期末試験を実施する。評価においては主に以下の点を重視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題の意味を正確に理解している。 ・理論的な視点から対象を捉え、対象の特質や課題を正しく理解している。 ・関連する資料やデータを適切に扱うことで、客観性をもって論旨を展開している。 ・自分自身の意見や考えも交えながら論述している。 ・新しい時代にふさわしい独創性を持って実践的な課題克服の方法を提言している。 		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		30		①	✓	<p>授業内での小レポートやリアクションペーパーの提出を課す。評価基準と目的は以下の二点。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(小レポート) 授業内容や専門用語の理解の深度を確認する。 ・(リアクションペーパー) 授業が扱うテーマへの興味・関心および授業への参加意欲の程度を確認する。
						②	✓	
						③	✓	
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	<p>【主体性・発信力】疑問点や興味関心のある点について積極的に質問や意見を述べることができる。</p> <p>【実行力】授業に関連する事象について自分で調査し、資料をまとめることができる。</p> <p>【課題発見力】レポートやリアクションペーパーで理論的課題について論述することができる。</p> <p>【創造力】新しい時代の担い手として、来るべき社会のビジョンについて表現することができる。</p> <p>【傾聴力・規律性】遅刻・私語などの授業に支障をきたす行為を避けてルールを守ることができる。</p>		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
筆記試験、レポート、リアクションペーパー、学修態度の合計評価が90%以上に秀、80%以上に優を与える。	筆記試験、レポート、リアクションペーパー、学修態度の合計評価が70%以上に良を与える。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	授業ガイダンス コミュニティデザインとは何か	講義と質疑応答 シラバス配布	地域社会の持続可能性の向上に向けて、安定的なコミュニティづくりが不可欠な要素となる。ここではコミュニティをデザインするとはいかなることなのかを理解しよう。	(予習)シラバスに目を通し、講義全体の趣旨や学修上の達成目標について理解する。	180	主体性 課題 発見力 計画力
2週 /	NPOとコミュニティデザイン まちづくり	講義と質疑応答	NPOは今日のコミュニティデザインにおいて中心的な役割を果たしている。ここではまちづくりに関わる多くのNPOの事例とその手法を紹介する。NPOの社会的位置付けを理解しよう。	(予習)前回の配布プリントを見直す。 (復習)NPOのまちづくり活動について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 傾聴力
3週 /	NPOとコミュニティデザイン 子育て・介護	講義と質疑応答	NPO法人による学童クラブ、スポーツクラブ、介護予防教室などの運営事例を紹介する。ここではNPOによる子育てや介護の支援活動の現状と課題を理解しよう。	(予習)前回の配布プリントを見直す。 (復習)NPOによる子育てや介護支援について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 傾聴力
4週 /	市民討議会によるコミュニティデザインの手法	講義と質疑応答	無作為抽出による市民代表を集めてまちづくりの様々な課題を討論する新しい市民参加の手法である市民討議会(Planungszelle)について紹介する。そのワークショップの仕組みやプロセスを理解しよう。	(予習)前回の配布プリントを見直す。 (復習)市民討議会の手法について要点を整理する。	180	主体性 働き かけ力 創造力
5週 /	公共交通から考えるコミュニティデザイン	講義と質疑応答	ここでは地域住民のモビリティを確保するバスや鉄道などの公共交通の視点から望ましいコミュニティデザインのあり方を理解しよう。	(予習)前回の配布プリントを見直す。 (復習)公共交通の課題について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 傾聴力
6週 /	地域活性化のコミュニティデザインとワークショップの手法	講義と質疑応答 レポート課題出題	都市コミュニティ再生の方法論として文化的イベントや住民参加のワークショップを活用した地域活性化の手法を理解しよう。	(予習)前回の配布プリントを見直す。 (復習)ワークショップの手法や用語について要点を整理する。	180	主体性 働き かけ力 発信力
7週 /	コンパクトシティのコミュニティデザイン	講義と質疑応答 レポート解説	人口減少に対応した郊外開発の抑制と中心市街地の再活性化を目指したコンパクトシティ構想を進める各都市の現状と課題を理解しよう。	(予習)前回の配布プリントを見直す。 (復習)コンパクトシティの手法や用語について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 傾聴力
8週 /	サステナブル都市のコミュニティデザイン	講義と質疑応答	サステナブル都市とは環境・経済・社会のバランスを目指す都市のことである。ここでは、サステナブル都市におけるコミュニティデザインの特質と手法、その背景となる思想や理念を理解しよう。	(予習)前回の配布プリントを見直す。 (復習)サステナブル都市の概念や特質について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 傾聴力

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	スロー都市のコミュニティデザイン	講義と質疑応答	スローフード運動から発展したスロー都市は今や世界180以上の都市が加盟するネットワークを形成している。ここではスロー都市の思想や理念を学び、地域の固有性を発揮するコミュニティデザインの手法を理解しよう。	(予習) 前回の配布プリントを見直す。 (復習) スロー都市の概念や特質について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 傾聴力
10週 /	創造都市のコミュニティデザイン	講義と質疑応答	芸術文化の創造性を活かして産業構造の転換に成功し、世界的な注目を集める創造都市の事例について紹介する。コミュニティデザインにおける公共空間の活用と文化政策の重要性を理解しよう。	(予習) 前回の配布プリントを見直す。 (復習) 創造都市の概念や方法論について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 傾聴力
11週 /	コミュニティデザインとサードプレイスの視点	講義と質疑応答	単身世帯が最多を占めるようになった日本においては「居場所」をコミュニティデザインに含めることも重要となる。ここでは「サードプレイス」という考え方を紹介し、私たちの生活に欠かせない居場所について理解しよう。	(予習) 前回の配布プリントを見直す。 (復習) サードプレイスの概念について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 創造力
12週 /	団地のコミュニティデザイン	講義と質疑応答	多くの団地が老朽化とともに、住民の高齢化に悩まされている。住民同士の交流や見回り、新たな住民を呼び込むシェアハウスなど団地のコミュニティデザインの新しい取り組みと課題を理解しよう。	(予習) 前回の配布プリントを見直す。 (復習) 団地におけるコミュニティデザインの課題について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 創造力
13週 /	コミュニティデザインと町内会、自治会の課題	講義と質疑応答 レポート課題出題	住民主体のまちづくりの基盤となる町内会や自治会の現状と課題と新しい取り組みについて理解しよう。	(予習) 前回の配布プリントを見直す。 (復習) 高齢化時代の町内会・自治会の課題について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 発信力
14週 /	ボランタリー & コミュニティ・セクター：新しい共生社会のかたち	講義と質疑応答 レポート解説	英国のコンパクトシステムは市民セクター(ボランタリー・コミュニティ・セクター)と行政セクターの対等なパートナーシップに基づく公的課題の解決を目指すものである。これをヒントに今後の市民と行政の協働のかたちを理解しよう。	(予習) 前回の配布プリントを見直す。 (復習) 市民と行政の連携・協働について要点を整理する。	180	主体性 課題 発見力 創造力
15週 /	まとめ：コミュニティデザインが開く地域の未来像	講義と質疑応答 期末試験の説明	近年補助金に頼らない公民連携による地域活性化の成功例が注目されている。ここでは「地域のことは地域で決定する」という精神がコミュニティデザインに力を与えることを理解しよう。	(予習) 前回の配布プリントを見直す。 (復習) 講義全体をふり返し、期末試験に向けて重要な論点をまとめる。	180	主体性 課題 発見力 創造力

能力名：①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力